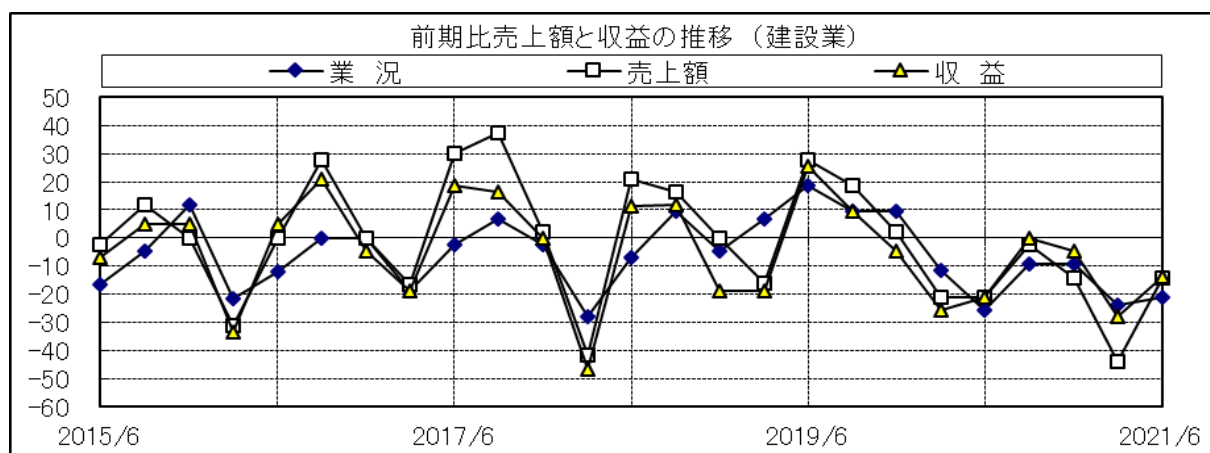


建設業 43 企業（回答率 100.00%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
業 況	-9.4	-23.7	-20.9	-2.4
売上額	-14.0	-44.1	-14.0	21.0
収 益	-4.6	-27.9	-13.9	14.0

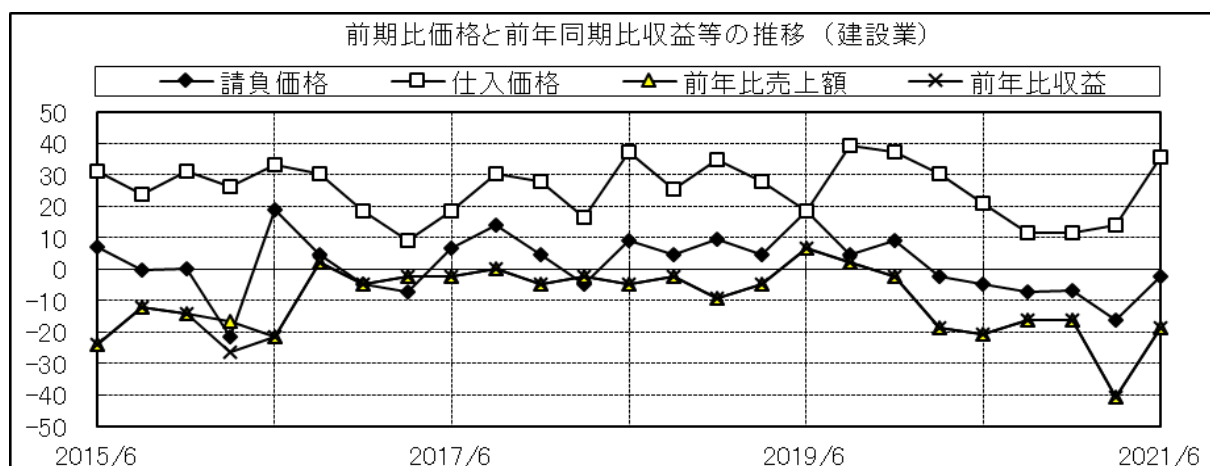
今期の業況判断 D.I. は△20.9 で、前期比 2.8 ポイント上昇、前年(△25.5)比では 4.6 ポイント上昇した。地区別 D.I. の水準は高い順に、静内が最も高く、次に広尾、浦河、様似、三石と続き、えりもが最も低い水準となった。売上額判断 D.I. は、△14.0 で、前期比 30.1 ポイントの上昇となった。収益判断 D.I. は△13.9 で、前期比 14.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
請負価格	-6.9	-16.2	-2.4	4.6
仕入価格	11.7	14.0	35.7	28.0

請負価格判断 D.I. は△2.4 で、前期比 13.8 ポイント上昇、前年(△4.7)比 2.3 ポイント上昇した。仕入価格判断 D.I. は 35.7 で、前期比 21.7 ポイント上昇し、前年(21.0)比 14.7 ポイントの上昇となった。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12 月 期実績	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期見通し
残業時間	16.3	6.9	-16.3	-2.3
人手状況	-37.2	-20.9	-16.2	-30.3

残業時間判断 D.I. は△16.3 で、前期比 23.2 ポイント下降し、残業時間が減少したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D.I. は△16.2 で、前期比 4.7 ポイント上昇し、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

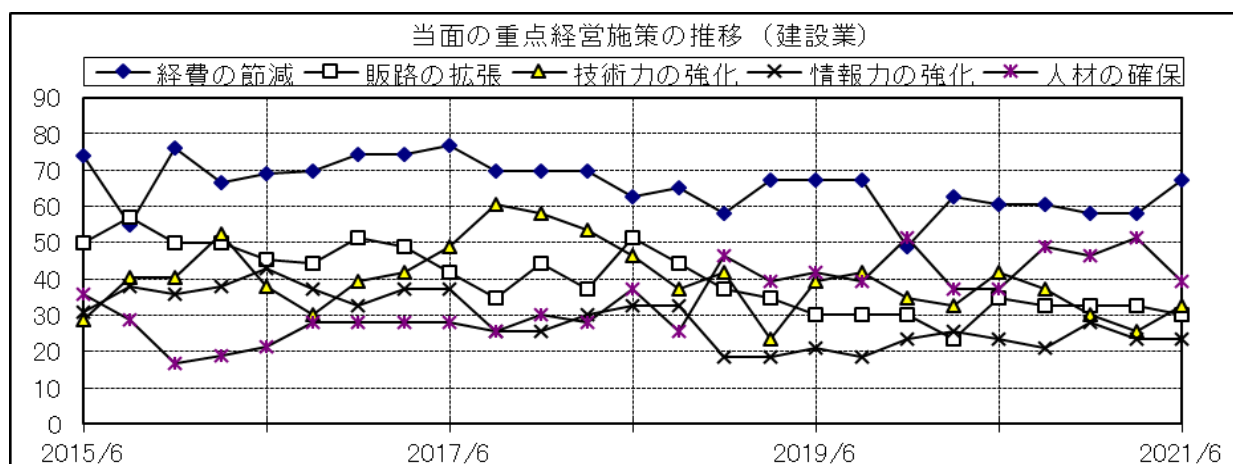
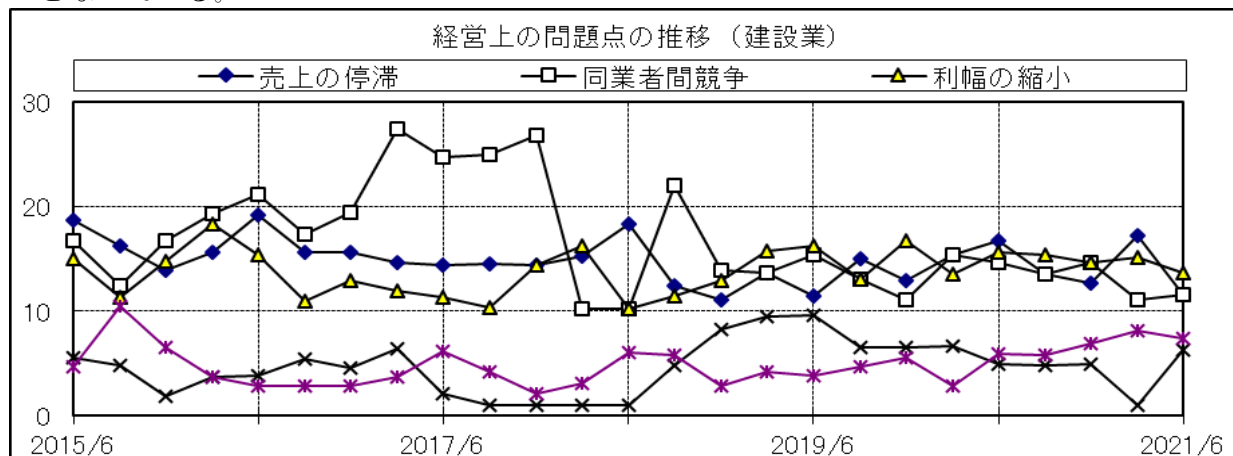
設備投資の充足感を示すD. I. は2.3で、前期(△4.7)比7.0ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は20.9で、前期(7.0)比13.9ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、9社の実施となった。来期の設備投資は、4社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「材料価格上昇」が16.8%と最も多く、次に「利幅縮小」13.7%、「売上停滞減少」・「同業者競合」が11.6%、「人手不足」10.5%、「下請確保難」・「地場産業衰退」が7.4%、「人件費増加」・「天候不順」が6.3%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が67.4%と最も多く、次に「人材確保」39.5%、「技術力強化」32.6%、「販路拡大」30.2%、「情報力強化」23.3%、「教育訓練強化」9.3%、「労働条件改善」7.0%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△2.4と、今期比18.5ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D. I. は21.0と、今期比35.0ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断D. I. は14.0と、今期比27.9ポイントの上昇を見通している。

予想請負価格判断D. I. は4.6と、今期比7.0ポイントの上昇を見通している。

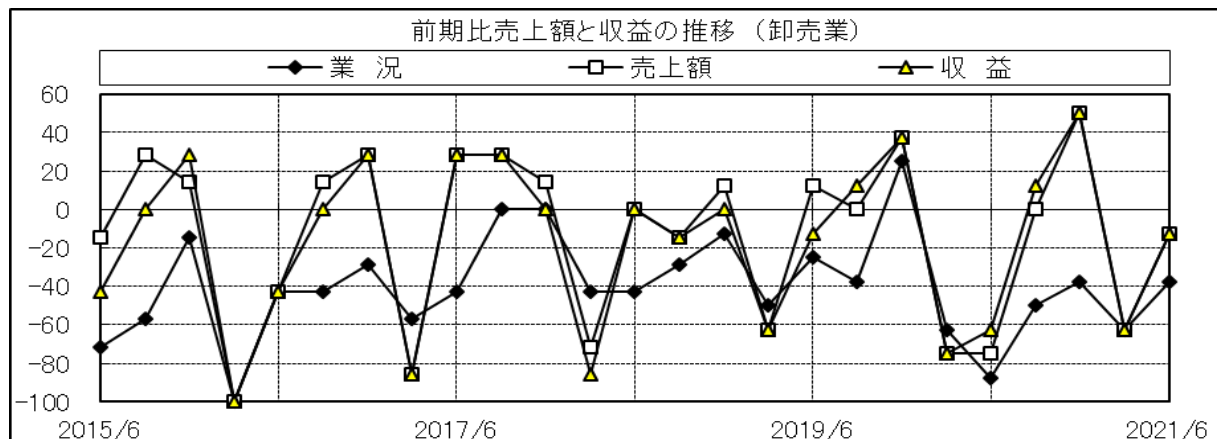
予想仕入価格判断D. I. は28.0と、今期比7.7ポイントの下降を見通している。

卸 売 業 8 企 業 (回答率 100.0%) の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-37.5	-62.5	-37.5	-50.0
売上額	50.0	-62.5	-12.5	-25.0
収 益	50.0	-62.5	-12.5	-25.0

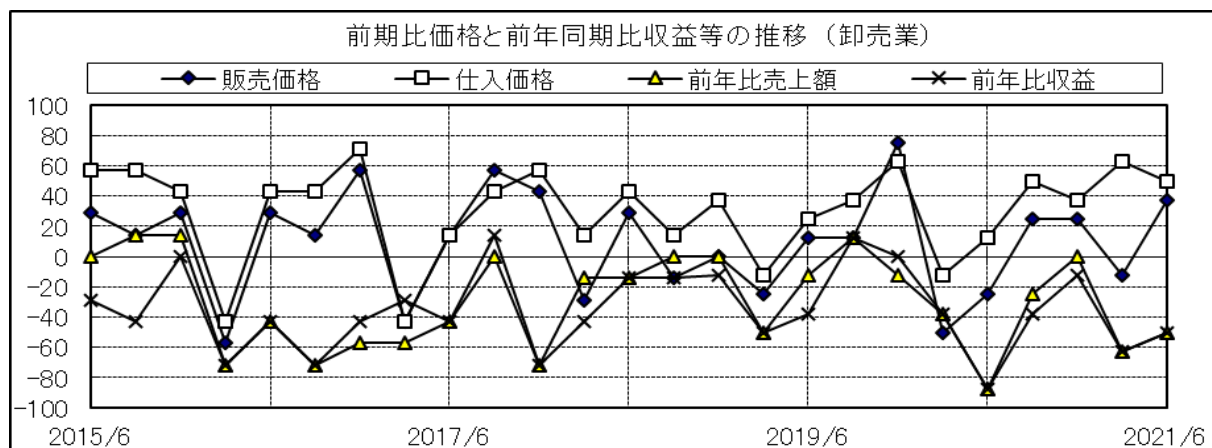
今期の業況判断 D. I. は△37.5 で、前期比 25.0 ポイント上昇。前年(△87.5)比 50.0 ポイント上昇した。地区別の水準は、静内・様似地区は上昇、浦河地区は横這いとなった。売上額判断 D. I. は△12.5 で、前期比 50.0 ポイント上昇した。収益判断 D. I. は△12.5 で、前期比 50.0 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	25.0	-12.5	37.5	50.0
仕入価格	37.5	62.5	50.0	62.5

販売価格判断 D. I. は 37.5 で、前期比 50.0 ポイント上昇。前年(△25.0)比 62.5 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 50.0 で、前期比 12.5 ポイント下降。前年(12.5)比 37.5 ポイント上昇した。業種別では、水産業は販売・仕入価格ともに横這い、食品業は販売価格が上昇、仕入価格は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	0.0	-37.5	0.0	0.0
人手状況	0.0	-25.0	0.0	0.0

残業時間判断 D. I. は 0.0 で、前期比 37.5 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増加した。

人手過不足判断 D. I. は 0.0 で前期比 25.0 ポイント上昇、人手不足感は弱まった。

□ 設備投資の動き

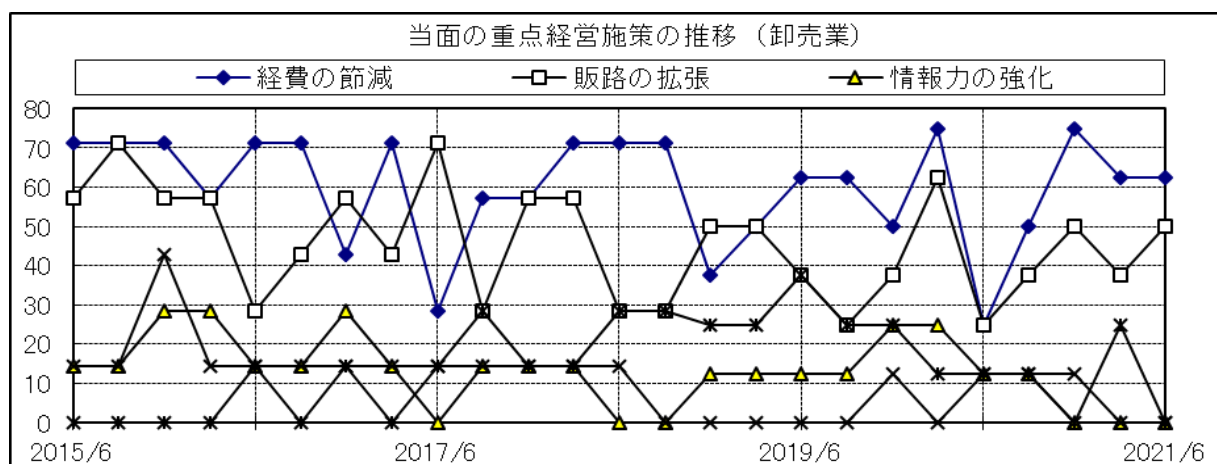
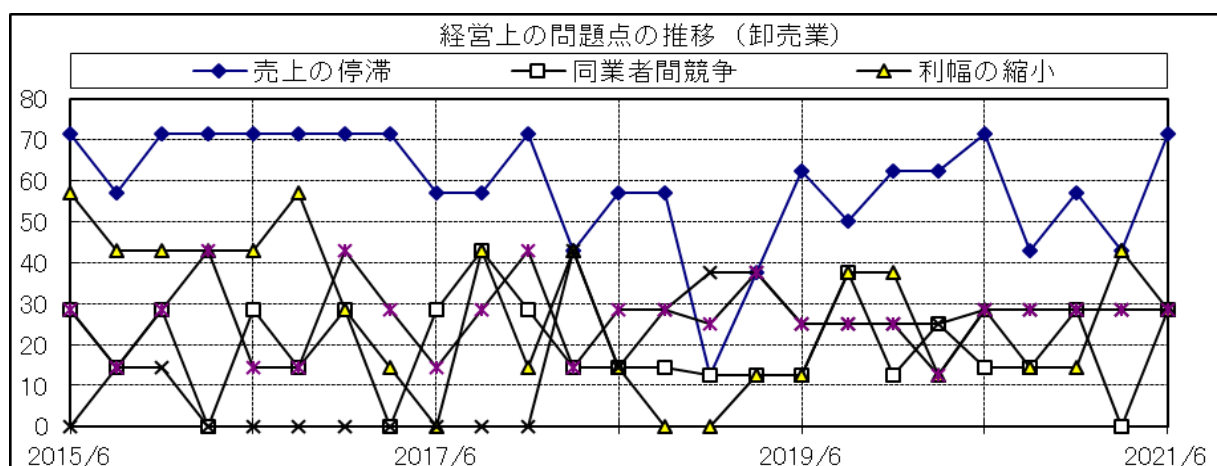
設備投資の充足感を示すD. I. は△12.5で、前期と同水準となった。

設備実施企業割合は12.5、前期比12.5ポイント上昇した。設備投資は、前期0社に対し、1社の実施となった。来期の設備投資予定は0社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が71.4%と最も多く、次に「同業者競合」・「利幅縮小」・「値上要請」・「取引先減少」・「店舗老朽化」・「天候不順」・「地場産業衰退」が同率の28.6%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が62.5%と最も多く、次に「販路拡大」50.0%、「品揃え充実」25.0%と続き、「新事業開始」・「連携先確保」・「教育訓練強化」・「取引先支援」・「輸入品取扱増加」・「不動産有効活用」が12.5%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D. I. は△50.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想売上額判断D. I. は△25.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想収益判断D. I. は△25.0と、今期比12.5ポイントの下降を見通している。

予想販売価格判断D. I. は50.0と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。

予想仕入価格判断D. I. は62.5と、今期比12.5ポイントの上昇を見通している。